

第 4 回品川区長期基本計画策定委員会 議 事 要 旨

日時：令和元年 6 月 26 日(水) 14:00～16:00
場所：品川区役所 議会棟 6 階第 1 委員会室

議事次第

1. 開会
2. 委員長挨拶

■委員長

会議に入ります前に、今回初めて出席される委員と参与がいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。一言、自己紹介をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

■委員

どうぞよろしくお願いいたします。

■参与

私は教育学、学校教育学を専門としております。品川は教育改革が始まってからのおつき合いをさせていただいているのですが、このような会議は初めてでございますので、勉強させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

■委員長

どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

前回の議事要旨の確認をさせていただきます。改めて申し上げます。本委員会の公開基準は、第 1 回策定委員会でご承認をいただきました。そのうち会議録については、要旨を区のホームページに掲載することになっております。氏名については公開いたしません。今回からご参加いただく委員と参与の皆様には、どうぞよろしくお願いいたします。

前回、第 3 回の委員会の議事要旨について、今回、資料 1 として配付されております。事前に配付されておりますのでご確認くださいと思いますけれども、いかがでしょうか。何かございますか。

■委員

4 ページの中で 4 カ所ほど修正いただけると助かります。上から 6 行目で、「品川区地域貢献活動展」とありますけれども、「品川区」という漢字を平仮名で「しながわ」としていただきたいと思います。

また、真ん中ぐらい、上から 16 行目で「オレンジカフェ」とあるのですけれども、「しなふく」というのを言い忘れましたので、平仮名で「オレンジカフェしなふく」としていただけますか。それから、その下なのですけれども、「八潮図書館カフェ」とあるのですが、これも図書館は平仮名の「としょかん」で、カフェは英語でCが大文字、他が小文字で、「八潮としょかん Café」となります。最後に、私の発言の一番下から 2 行目なのですけれども、「認知症および健康づくり」とあるのですが、「認知症対応および健康づくり」としていただけたらうれしいです。以上です。

■委員長

以上、4 点ですね。これは訂正することに皆さんご異議はないと思いますけれども、いかがですか。よろしいでしょうか。

それでは、皆さんご異議ございませんので、今の 4 点について訂正するというごことをお願いしたいと思います。第 3 回の議事要旨については、委員会で確認したということにさせていただきます。後日、区のホームページに公開いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、計画体系に移ります。本日はこの計画体系についてご議論いただきまして、次回以降、分野別のご議論をいただくことになっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、事務局のほうから、3、計画体系について説明をお願いいたします。

3. 計画体系について

*事務局より資料 2 について説明

■委員長

ありがとうございました。分野別の内容の議論につきましては、次回以降、分野別に各会でご議論をお願いいたします。今日は、前回決めていただきました三つの分野があります。三つの分野は、1 ページ目の一番上に書いてある左から順に、地域・にぎわい・活力、人・すこやか・共生、安全・あんしん・持続。これが三つの柱でございます。

今日の議論は、それぞれの三つの分野にここで言う政策の柱というのがございます。「地域」についていいますと、区民活動、生涯学習・スポーツ、伝統・文化云々とあります。この三つの分野のそれぞれの柱につきまして、今説明があったように、この政策の柱に過不足がないか、それから、名称表現とか並び順がこれでいいのか、そういったことについてご議論いただいて、今日大体それぞれの柱について、順番と名称表現等が大方こういうことではないかというご意見もいただければ、それをもとに次回以降、具体的な内容を議論したいということになりますので、よろしくお願いいたします。

議論の進め方としては、全体どこからでもいいというやり方もあるのですけれども、一応議事の整理の都合上、この「地域」、「人」、「安全」の三つの分野ごとに順にご議論いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。もちろん内容的にはほかの分野にもまた

がるご意見をお出しいただいても結構です。そういった形で進めさせていただくということでもよろしいでしょうか。

それでは、早速、まずは地域・にぎわい・活力という分野の中で、この柱が今日提示されていますけれども、これに対するご意見を1ページだけではなくて、「地域」の分野の柱が、2ページ目に内容の説明や施策例が掲載されておりますので、2ページ目も参照しながら各「地域」の分野について、ご意見をお出しいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

■委員

大変すばらしい計画体系が出てきているわけですが、これは私の私的な思い、希望でございますが、この1ページを見ていただいてもわかるように、あまりにも漢字の羅列が多いように感じます。私、しながわという平仮名の4文字は非常にいいと思うのです。漢字ばかりではなく、どうしたらいいのかということですが、「地域」の下、区民活動だけではなく、4文字平仮名を入れて、しながわ区民活動などとするとよいのではないかと思います。また都市型観光についても、しながわ型観光ですとか、しながわ区景観ですとか、しながわの4文字をもう少しいっぱい入れていただけたらありがたいと感じております。この委員会に携わっている方は当然、品川区の長期計画だということを知りきっていることですが、区民の方のレベルに行ったらどういう判断をされるのだろうかとなりました。もう少し、しながわという4文字を入れていただけたらありがたいと思います。

「地域」のところの一番最後、水とみどりがございますが、これは水とみどりだけではなくて、やはり森羅万象に感謝できるような地域でありたいと思いますので、空気、大気でも結構ですが、空気、土、土壌でもいいのですが、空気、土、水とみどり、全てに感謝できるような地域でありたいと思います。これは私ごとで本当に自分の思いなので、すけれども、どうぞよろしくお願いたします。

■委員長

ありがとうございました。今日は、委員の方から意見を出していただきたいということで、特段なご質問等があれば事務局からご答弁いただきますけれども、なければ、どんどん委員の方からの意見を出していただくということで受けとめていただきたいと思ます。

■参与

前回、お休みさせていただいたので、この枠組みを数日前にいただいて見させていただいたのですが、考え方としてお伺いしたいのは、たとえば区民活動と子育て・青少年というのを、オペレーションのことを考えたときに、実際に動かすときに縦割りだと動

かないということがあると思うのです。そのときに、なるべくある活動をするときに協力できるものが同じところにあると考えていったほうがいいのか、これは順番とか縦の垣根をどう考えていったらいいのか、その辺の思考の仕方をご説明いただきたいです。枠組みが決まってしまうと、オペレーションするときはどういう問題が起きるかということでお伺いしたいと思いました。

要は、何でもいいのですけれども、伝統文化の活動を学校教育と絡めてやりたいとなったときに、これは縦のところが違うとなかなか活動しづらいのか、同じ柱に入っていたほうがいいのかを考えるのか、そんなことはあまり関係ないと考えていて、ただこれはビジョンということでモットー的に考えて、あまりオペレーションのことは考えないで議論しているのかというところでご質問です。

■事務局

事務局からお答えさせていただきます。今、参与ご指摘のオペレーションの部分等を細かく考えていきますと、逆に言うと全ての分野が連携をしているというところに最終的にはつながっていくところがございます。そういった中で計画の体系をつくっていくというところで、地域のにぎわい、活力といった一つのカテゴリー、人がすこやか、共生といった一つのカテゴリーといった大きな意味でのカテゴリーで分けたときに、今こういった柱立てを入れさせていただいていると。これは区の考え方を示させていただいているところがございます。ですので、先ほど参与ご指摘のあった伝統と文化と学校教育といったところも当然連携するのだろうというのは、区も想定しているところではございますけれども、そういったところは、この三つの中での連携というところでまたしっかりやっていくという考え方で、一定程度、この三つの分野の考え方に沿って分けた形が、今の形ということでございます。

■委員長

決して縦割りという意味ではなくて、三つの分野ごとに連携・協働してということは、多分計画全体の部分が出てくると、その中にも書き込まれることを期待したいと思います。

■委員

二つというか、連動している質問なのですが、この今いただいている柱の内容の順番が、品川区のやっていく順番なのか、一気に全部をやるわけにはいかないと思いますので、そこがどう考えたらいいのかというところです。

あとは、先ほどお話もありましたが、しながわという平仮名をつける、ネーミングもそうなのですが、前回もございましたが、品川ならでは、品川としてどこを一番注力してやっていくのかというところです。品川は例えば緑が、環境がすばらしい区になっていくのかとか、そういったところのどこに重点を置かれているのか、区としてお考えがあるかを

お聞きしたいです。

■事務局

この並び順についてでございますけれども、やはりこの三つの分野の中で一番上に来る部分は、その分野の中でトップの部分という形になりますので、一定程度、区として一番力を入れていく分野がここに来るのだろうということでございます。その後は、特に優劣と申しますか、やっていく順番ということではなく、関連する分野をそれぞれその中でもカテゴライズをしながら並べているという考え方でございます。

■委員

お尋ねしたいのですけれども、観光協会は、平成28年3月に品川区と一緒に都市型観光プランをつくっております。これは10年単位のプランでございますが、その辺の計画とこの長期基本計画の整合性、どちらを優位に持っていくのかをお尋ねしたいです。

あと、都市景観というところなのですけれども、魅力的で個性あると書いてありますが、個性というのは、その地域ごとにいろいろあると思うのですけれども、各々の町で個別にやることは大変難しいと思います。例えば旧東海道の個性と申しますと、江戸時代の町並みを想像すると思います。そういうものをつくり上げていくというお考えなのかどうか、その辺もお伺いしたいと思います。

■事務局

まず、2ページ目、都市型観光の部分での品川区の都市型観光プランとの整合性でございますけれども、平成28年に品川区では都市型観光プランという形でつくらせていただいている内容については、基本的にはここの中に入ってきているということです。それから、平成28年度に策定してから時間が経っておりますので、そういった部分で新たに出てきた部分がこの中には含まれてくるという考え方でございます。

それから、都市景観といったところでの魅力的で個性あるというところでございますけれども、地域といったところを一体的に取り組んでいくというものが一つやっていかなければいけないという中で、品川区のほうでは、品川区の景観計画をつくっております。そういった中で、さまざま個性ある都市景観といったものを検討しながらやっているところでございます。具体的にどこの地域ということは難しいところはあるのですけれども、そういったものを目指してしっかりとやっていきたいという考え方で入れさせていただいているものでございます。

■委員

2番目の生涯学習・スポーツ、それから3番目の伝統・文化となつてございますが、生涯学習は、伝統・文化ともかかわる部分が多くあつて、そういった施設ですとか、文化施

設と地域との共存、そういうことがありますので、これの分け方というか、これは無理があると私は感じました。この図書館機能を充実させるという部分を書いてございますが、図書館の現状は、業者委託で運営していると私は認識しておりまして、どういう状況で、そして急にこのスポーツと生涯学習のところに入っているのか、いろいろなことに無理や混在があるように感じましたので、その辺のご説明いただけるとありがたいと思っております。

■委員長

ただいまのお話は、生涯学習・スポーツ、それから伝統・文化のそれぞれの政策の柱で、その中で特に公共図書館の問題で、この生涯学習・スポーツと伝統・文化という柱の分け方がいかなものかというご意見と受けていいですか。

■委員

わかりにくかったのですが、そのような趣旨でございます。

■委員長

そういうご意見を出していただく会議なので、ほかの方も今の意見に対してご意見があれば承りたいと思うのですけれども。

委員のご発言は、この施策例の中に身近な居場所としての図書館づくりと書いてありますけれども、これは生涯学習・スポーツだけではなくて、伝統・文化を育むほうにも大きく関連するとか、そういうことも含めてのお話なのでしょうか。

あるいは、たしか今までの3回の間のどこかで話が出たか、私も申し上げた記憶があるのですけれども、公共図書館の機能というのが大きく世界で変わってきていて、公会堂、公民館、地域センター、コンサートホールとか、そういった機能と公共図書館の機能が融合しつつあるということがあって、従来の概念の図書館だけの機能ではなくなって、ほかの機能と一緒につくるようなものが、一種の流行と言うと軽過ぎるかもしれないですけれども、そういったふうに公共図書館は変わってきていると思うのです。そういった中でいうと、より単に生涯学習という概念に収まりきれないというのはあるかもしれないのですけれども、例えばそういう話題なのでしょうか。

■委員

それも含めてなのですが、生涯学習を基幹として、その中にスポーツですとか、伝統・文化という項目にしたほうがいいのではないかという考えでございます。

■委員長

総くりにした政策の柱は生涯学習であって、スポーツとか伝統とか文化はその中に入

るといことですかね。

■委員

はい、そうです。そのほうが明解ですし、それぞれの関係性もより明解に出るのではないかと考えております。

■委員長

これは、賛否は別として、一つのご意見だと思います。それ以外でもこの辺では、柱の立て方として、もしかすると、また違ったバージョンの意見や提案があるかもしれないところだと思ったのですが、これについて、何かほかの方でご意見ある方いらっしゃいますか。

■委員

私はやはり生涯学習・スポーツ、そして伝統・文化は伝統・文化であるべきだと思います。なぜかといいますと、品川区は、非常に素晴らしい神社がたくさんありまして、それに氏子さんが皆さんいらっしゃって、そしてまた、大変活発なお祭りがございます。品川区としましても、町会の活動を支援していくような方向があったと思うのです。ですから、伝統・文化のところに町会活動などの言葉を一言入れていただくと、その伝統・文化という項目が生きてくるのではないかと私は思います。

■委員長

ありがとうございます。今の意見に対してでも結構ですし、ほかの意見でも結構ですので、ほかの方、ご意見ありましたら、どうぞ。

■委員

別の意見なのですが、**「地域」**における生涯学習・スポーツのところになるのですが、スポーツの中に障害者スポーツをしっかりと位置づける必要があると思います。東京2020に向けてパラリンピックへの関心や期待が高まっておりますが、ここまでの長期基本計画では、障害者スポーツ、パラリンピックについては、オリパラを通じた機運の醸成として、実施競技の周知、体験、観戦などの機会をつくるという位置づけですが、さらに品川区における障害者スポーツの環境整備を位置づけて、障害がある方も含めて誰もがスポーツ参加をできる環境整備の推進を加えていただきたいと思います。

■委員

意見というか、今までの議論の中の一つのカテゴリーとして考えていただきたいのですが、都市型観光のところ、伝統・文化も観光のコンテンツとして入るわけです。ですか

ら、そのくくり方もどういうふうにすればいいかというのは、全く結論がないのですが、くくり方が少し複雑になる可能性はあるのですが、そういうコンテンツの一部であることも認識していただきたいと思います。意見です。

■委員

今回、三つの柱ということをお挙げになりましたけれども、前回議論ありました横串の視点でSDGsやICT、それはどういった形で取り組んでいくのでしょうかという質問です。

また、個別の話をもう一つですけれども、前回も申し上げたのですが、例えば産業ですと、産業の発展にともない、多分昼間人口も恐らく増えてくる、あるいは住居の問題等があって、産業で申し上げますと、だんだんビルみたいなものが建ってきてしまいますけれども、そういったときの都市計画みたいな話。昼間人口だけ増えればいいのか、非常に人口が増えると言っていますので、マンションに住めばいいのかとか、いろいろその辺のバランスがあるので、そうしますと、この産業振興だけの話ではなくなってしまうので、そういった横のつながりみたいな話は、どう表現されるのでしょうかという質問です。

■事務局

今2点、SDGsという話、それから横の連携という話だと思います。この2点とも共通するところですが、計画書の中でどのように表現していくのかといったお話に最終的にはなろうかと思っています。本日の資料といたしましては、計画の体系ということでツリー構造でお示しさせていただいておりますけれども、SDGsの部分、それから分野間での連携の部分といったものの計画書の段階での表現の仕方といったものについては、まだ確定しておりませんが、しっかり検討して、区民の方にわかりやすいようにSDGs、それから分野間の連携のところについては、表現していきたいと思っています。

■委員長

どんどんご意見をお出しただければ、それは受けとめて、今後の表現にできるだけ反映させることになると思うので、意見を出しっぱなしで構いませんので、ほかにございましたら。

■委員

先ほど、しながわという言葉を入れるという話もあって、そういう工夫がすごく大事なと思うのですが、そういう中で、これを見たときに品川区がどこを重点にやっついこうかというのが、ずっと見えてこないところがあると思うのです。それで、これは最後の編集の工夫だと思うのですが、事務局の方がおっしゃったように、この三つの柱のうち一番最初に上がっているものが一番思いの強い部分だと。それは多分これから大事な視点だと思うので、この部分がもう少し強調されるような体系の書き方を工夫され

たらどうかというのが一つ。

それから、漢字がぼんぼんと並んでいる重たさを感じるので、もう少し能動的な表現に、例えば区民活動のところは、コミュニティ活動を推進するとか、地域共生社会を実現するとか、そういう動的な表現にされたらどうかと思います。

それから、生涯学習・スポーツと伝統・文化の部分ですが、伝統・文化を取り上げるといのが、多分思い切った打ち立て方だと思うので、今の段階では削らないで、どういう施策が用意できるかというところを待って決めたらいいと思います。

そういう視点で見たら、先に行ってしまうて恐縮なのですが、交通安全というのがここに乘っておりますけれども、これは昭和40年、50年ごろだったら、あくまでも重要テーマではありますけれども、ここにあって大きい項目として謳う必要があるのかと感じています。高齢者の事故が多いから必要だという考え方もあるかもしれないけれども、これからつくる計画として、どうかという意見です。

■委員長

ありがとうございます。先に行った意見も出たので、先に進みたいと思いますけれども、後で戻って前の分野ではこうだというご意見もお出しいただいて結構です。

それからもう一つ、少しまとめますと、今日は区民活動とか生涯学習・スポーツとか、いろいろなご意見が出た面もあるのですけれども、これは多分、最終形では、どういう区民活動をどうこうする、とかいう表現に当然なると思うので、今日出たご意見は、そういうプロセスで十分反映できるものは反映していくということになるかだと思います。しかもそういう表現を検討する段階で、この分け方でもいいとなったり、あるいはそれでは違うとなるかもしれないので、今日出たご意見は、今後引き続きテイクノートして宿題にして進めていくことになろうかと思しますので、よろしくをお願いします。

それでは、後に戻ったご意見も出していただいて構いませんが、政策の柱の中で、分野では「人」の分野について、細かいところで言うと、3ページに具体例等が出ていますけれども、1ページの計画体系案ですと、真ん中の人・すこやか・共生というところです。ここに進みたいと思います。これについてご意見のある方、特に今まで発言されていない方も、ぜひご発言いただければと思いますのでよろしくお願いたします。

■委員

私も前回お休みしてしまいましたが、前回の会議資料の中には、女性が活躍するための環境づくりとか、コンサルティング資料の中にも、ワークライフバランスや女性就労のM字カーブグラフなども掲載されているのですが、本日の検討課題の、計画の分野やその下の項目の中に女性に関する記述がほとんどありません。

それで、「人」の分野の中に、私はやはり女性活躍という項目を加えていただきたいと思っています。確かに、平和・人権・多文化の項目で扱われるから、いいじゃないかと思われる

かもしれないのですが、とりわけ若い層の人口が品川区では今、増えてきていると以前ご報告があったと思います。そういう点で、仕事と家庭を両立しながら、カップルが共に人生を歩んでいく意味で、長期計画において女性活躍やワークライフバランスなどの視点は不可欠ではないかと思うのです。

「地域」の分野の産業という項目の中でワークライフバランスを取り上げることも必要だと思いますが、やはり「人」の分野の中に女性活躍という項目をぜひ加えていただくことを強く希望します。

■委員長

今までも、働き方改革とか女性の活躍とか男女共同参画とか、いろいろご意見は毎回出てきていると思いますので、いらっしゃらなかった3回目もたしかあったと思います。確かに、この「人」の分野の中で、それはそういうふうに表現するということと、あと、今日は総論が出てきていないのですが、分野別の議論をしていく中で総論もでき上がっていくと思いますので、そういった中で、おっしゃるとおり、これも一つの課題ということで受けとめさせていただくと思います。ありがとうございます。

■参与

この表を見させていただいて、公共財と私財、経済的に言うと純粋公共財と非純粋公共財、それから私財と分かれるのですけれども、この三つの柱で一番右側が、純粋公共財的な非排除性がある非競争性があるというタイプで、一番左の「地域」というのは、共ということ。クラブ財とかそういうタイプの。公共の共に当たる、純粋ではなくて、準の公共財的なタイプで、真ん中が私財、排除性がある競争性があるタイプだけれども、政治的な判断で、大きな政府の場合はここに力を入れていきましょうというタイプで、そう考えると、行政としてはどこまで公のものに力を入れていく、もしくはクラブ財的なものに力を入れていく。あとは、その真ん中のところ。経済的な性質としては私財なのだけれども、やはりそれが重要だということで、そこにお金を入れていくという、その三つに分かれると思うのです。そう考えたときに、どういうところに力を入れていくかというふうなこれを見ていくのも一つの見方かと思いますので、コメントです。

■委員

地域共生社会ですけれども、施策の例に虐待防止と権利擁護がありますが、基本的人権のことになりますので、平和・人権・多文化に加えるか、虐待防止を1項目増やすかに変更していただきたいと思いました。子どもや高齢者、障害者や、性暴力やデートDVなど、虐待は深刻な人権侵害です。それだけに地域共生社会で言う助け合いやともに生きるということとは、性格が異なると思います。発見などで地域が力になることはありますが、深刻なケースになればなるほど専門的な対応が必要になると思いますし、地域では対応でき

ない事例もありますので、平和・人権・多文化に加えるか、虐待防止を1項目増やすかに変更していただきたいと思います。

それと、子育て・青少年の中に、ひきこもり等若者の支援がありますが、20代後半から40代、最近では50代も含めて、ひきこもりといわれる状況が長期化する中で、親が定年を迎え生活が成り立たない深刻な状況が広がっております。この問題は、今後深刻化することが指摘されておりますし、背景にロストジェネレーションと言われる正規雇用の拡大や自己責任というさまざまな生きづらさがあるかと思いますが、子育て・青少年とは別枠にして、若者支援を取り出して支援を強化することが必要ではないかと思っております。

■委員

私も先ほどのものと同様に、立場もあるのですけれども、女性の活躍みたいなのが入っていないなと思っております。全体的には問題はないのですけれども、品川区がそういうことに真剣に取り組むということを表に出すということも、そういう少し尖ったところがあってもいいのではないかと思うところと、あと、これを見ると、子育てからはあるのですけれども、女の方は働きながら、また働かなくても生まなくてはいけないので、そういうところの女性の切れ目のないということや、生む気になる感じのところがないので、女性であったり、男性もそうですけれども、もう少しそういったところを区でサポートしようと思っているという姿勢があらわれるといいのではないかと思います。

あともう一つ、前のページに戻るのですけれども、産業のところ確かに女性の文字が少しあるのですけれども、これは別の話なのですが、私はこの辺はそんなに明るくないのですが、商店街を活性化するみたいなのところが、産業の中で女性とか創業支援みたいなのところと一緒にいるところがやや気になりました。これは分科で来週以降やるのかもしれないのですが、本当に商店街みたいなのを本当に活気づけようと思うと、地域の共生とか見守り合いみたいなのもここに入っていますけれども、いろいろなところに関連するのではないかと、何となく産業のひとくりに入るのが、私が一般的な区民の立場からすると、すこし違和感があるかなと感じる次第です。もう少しわくわくするような項目にしたいと思いました。

■参与

言葉尻を捉えて細かいことをいうのは、何回も策定会議が開かれるとどうかと思うのですが、言葉ということでお話ししたいのですが、まず「人」のところの健康のところですが、健康づくりとフレイル予防の推進と書いてありますが、一方、高齢者福祉の向かって右側の一番上のところにも健康づくりと介護予防サービスの充実と書いてあって、その重複が気になります。医療とか福祉とかは、特に超高齢社会においては重なる部分なので、なかなか難しいことと思うのですけれども、右側のほうは、高齢者福祉のところはある種、高齢者の健康づくりということ、普段は医療施策をやっている者から言うと、介護予防の

中に健康づくりが入って、介護状態に陥らないようにするという事で健康づくりを早めに始めるということですから、ここはむしろ削ってもいいという感じがします。高齢者の健康づくりを軽視するわけではないのですが、言葉が重なっていると思いました。

それからあと、健康のほうに戻りますけれども、フレイル予防というのは、加齢に伴う種々の機能低下とか、予防能力が低下するということにあって、難しいところで、フレイルの場合は主に高齢者を前提としているんですね。加齢とともに機能が低下ということですから。だから、高齢者福祉、あるいは高齢者・福祉とか、そちらに入るのかと。ただ、フレイルなので、これは論理学の先生方が主にやっているの、福祉ではないという気もしたり、難しい面もあるのですが、その点はもう一回、事務局のほうで検討していただけたらと思います。

それから、また言葉なのですけれども、感染症対策の充実と健康危機管理体制の充実、これも相当かぶるか。健康危機管理は大きな概念で、いろいろな感染症とかも含むので、あえてここはどうなのか。羽田空港があったり、水際もあったり、人の出入りもあるので、感染症は非常に大切かと思うのですが、その辺の言葉の整理もあっていいのかと。

それから、次の地域医療連携の推進ということで、連携で地域医療は開業医の先生方とか、急性期の病院の先生方とか、医療連携ということをやっていると思うのですが、一方、高齢者福祉のほうにも医療と介護の連携をと書いてあります。それから、地域包括ケアシステムというのは、基本的に医療と福祉の連携です。ですから、切れ目なく五つの要素をつなげていくという意味なので、その辺がダブリがあって、いろいろわかっている人間にしてみれば、くどいかなということ。す。

次は、高齢者福祉のほうでお話すると、認知症高齢者・家族への支援充実とあります。これはもしかして言わんとしているのは、あるいは無意識に高齢者の認知症ということをやっていると思うのですが、そうすると65歳未満の若年性認知症の場合、ご本人もそうなのですが、非常にご家族も苦労されている。これはどこに入るのかという問題になるので、むしろ認知症は、高齢者福祉のところに入れるよりも医療でくくったほうがいいのではないかと。それを少し検討していただいてもいいのではないかと。

それからあと、先ほども少し出ていましたけれども、子育て・青少年のところで、先ほどもある方がおっしゃっていたように、川崎での問題とか、練馬区の元次官の方の息子さんのトラブルなどおこっておりますが、四、五十代のひきこもり問題というのが大きな問題になってきています。子どもよりも体が大きいですし、ある程度年齢がいつている方ですから、このひきこもり等の若年の支援、自立に含めるというよりも、今お話ししたような形で言うなら、むしろ地域共生社会のほうに持ってきて、包括的な相談支援など、共生という形でやる、そちらのほうに持っていく枠組みとか言葉を使ってもいいのではないかと。す。

最後に、平和と人権、多文化というところで、これは多分含まれているかとは思いますが、すけれども、多様性を認め合う社会ということで、先ほど尖っているという言葉が出てい

ましたが、僕自身も品川区の小委員会で前から言っているのですが、LGBT とははっきり言って、いろいろな性指向というか、考え方を持っている人たちを認める方向性を示す必要があると思うのです。これは法務局のホームページにも、人権擁護局なども推進しているのです。先進的な取り組みを品川区はやるのだと。それから、世田谷区などがあるので、少し尖ってはっきり文言を出して、堂々と誇りを持って自分らしく生きることができる、誰もがと書いてあるとおりにやってもいいのではないかという気がします。

■委員長

ありがとうございました。ここまで「地域」と「人」の分野で、この後、「安全」に入りますけれども、その前に今まで、「地域」と「人」を通じて、各分野の横断的な課題をどう表現するかということが一つの共通の意見でもあったと思うのですが、そういったところを全体で、区民委員の方で、時々目が合っているのですが、ご意見がありましたら承りたいと思いますが、いかがですか。

■委員

資料をいただいて読ませていただいたのですが、私も区民委員ということで、区民の方がこういったことを考えていますというのを示したときに、先ほどもご意見幾つかあったのですが、どこまで頭に入ってくるのかというのが気になりました。すごくどこから見ても過不足のないというか、不足のない形で区として示していこうという姿勢は素晴らしいと思って、私なんか全く思いつかないところなども、本当に包括されていて素晴らしい資料とは思いますが、実際出したときに、どこまで読み込んでくださるかというあたりが、実際気になった部分でした。

最初に事務局のほうから説明いただいたときに、施策例は全部の項目を読まれたわけではなくて、一番上だったり、一番下の部分と、幾つか抜き出して読まれた部分あたりが、区としては全部進めていきたいと思われている部分、こちらの意見もあわせてそういうことで示されているのだと思いました。全部読まれていなかった部分を見ると、そのあたりをいっそ抜き出して書いていくこともあるように思います。あとは先ほどから、また前回もすごくお話が出ていましたが、私のほうもどういうふうに関わりをつくるかというか、縦で全部ぶら下がれないという部分は本当に難しいと思って考えておりました。横でつながりたい部分を例えばこの施策例の一番上に持ってくるとか、先ほどもどなたか、一番上にある部分を重点的に考えているのかというお話があったので、一番上から見ていたときに、そういう部分を持っていくということをするれば、少しわかりやすいかと感じました。

具体的なことを一つお伝えすると、2ページ目の「地域」の部分なのですが、一番最初の区民活動のところの政策の柱に、地域課題を解決する自発的、自主的な活動を支援するというのがトップに出ていまして、これを見たときに、地域課題が山積みなのかと

いうイメージをまず受けました。それがわざと示していて問題提起をしていきたいのでしょうか。それとも、もちろん順番がこれから変わってくると思うのですけれども、私が一番最初に読んだときは、区民活動の一番最初に地域課題となっているので、課題があるのだと、少し沈んだ気持ちを感じました。実際の施策例の中を見ると、活動支援とか活動推進というふうになっており、地域課題とは何かということは施策例には載ってこないのかもしれないのですけれども、このあたりがどういう感じかと疑問を持ちました。

■委員

これは順番があるのであれば、一番大事なのは健康じゃないかという感じがすごくするのです。ここに書いてあることは、結構、体の健康が中心みたいなことで、実は心の健康というのが非常にいろいろな問題と、いじめとかひきこもりとか、それはみんな心の問題に起因していると思うので、そういう観点の記述があまりないような気がしますので、この辺を配慮していただければというのが感想です。

■委員

女性活躍のお話もありましたし、心の健康というのもあります。今、人生 100 年時代に突入していると思いますので、ぜひ「人」のところにシニアの活躍といった部分も入れていただきたい。お仕事を現役で継続されたい方はできる環境、地域とできれば、すごくいいと思いました。

■委員長

ありがとうございました。まだご意見があろうかと思いますが、後で戻った意見で構いません。三つ目の分野、「安全」のところ。施策例が入っているもので4ページの「安全」のところに入りたいと思います。この分野の中のそれぞれの政策の柱等について、ご意見がある方はどうぞご発言ください。

■参与

災害対策と環境の部分なのですけれども、災害対策のところ、例えば関東直下型地震が起きると、首都圏はかなりの被害が生じるわけです。周辺自治体に避難場所を決めて避難することになると思うのですけれども、周辺自治体で受援の対策がほとんどなされていないのです。それはこちらから働きかけて、例えば品川区は、富岡町かどこかと連携しているわけなのですけれども、そういうところと、あるいはもっと連携先を求めて、相手先に、富岡町に受援対策やってくれと言っても、多分そんな力はないと思いますので、こちらから働きかけて、それでやるような仕組みをつくるのは重要だと思います。ここに書かれているのは、自助、共助で品川区だけで解決する問題はあるのですけれども、ほかに助けを求める問題がありませんので、それは非常に重要だと思います。

もう一つは、環境の部分ですが、環境の対策の効果が非常にわかりにくい部分があります。施策の例として、最近ですと新聞社でインフォグラフィックスの担当を必ず雇ったりしています。この長期計画の間にはそれが普通になっているかもしれませんが、そういうものを多様に使って、対策効果の見える化というか、温暖化が進むとどうなるか、CO₂がだんだん上がるといってもぴんと来ない。それが、例えば植林にするとどれぐらい増えたことになるかとか、そういう対策が見える化するものを項目として加えたらいいと思います。

それから、環境の部分でそういうことを言いましたけれども、基本的には環境のいろいろな調査結果とか、それからアンケートの結果とかがオープンにされていると、非常にいろいろな見える化に使いやすと思います。これも全体にまたがることかと思いますが、横連携をどうするかという話もあったのですが、結局それぞれのセクションでそれぞれの分野で連携し合うと非常に難しい部分もある。責任の所在とかがありました。それを解消するのが、全部が全部オープンにするわけではないのですが、オープンデータというのがありまして、誰がはかっても同じもの、あるいは同じようなデータがいろいろなところで重複して持つものをオープンにして、それで重複入力を避けるのがオープンデータなのですが、オープンデータを利用するのは、横串を刺すための一つの対策として魅力があると思います。

■委員長

ありがとうございました。ほかにこの「安全」の分野で、ご意見があったらどうぞ。

■委員

最後に、「安全」ということですが、あえて言うならば、「安全」の柱の中に羽田新飛行ルート計画の撤回や国への働きかけなど、新たに項目を増やすべきだと思います。騒音、落下物、不動産価格の下落など、平穏な日常生活を根底から奪うのがこの低空飛行計画です。品川区議会でも全会一致で容認できない、再考を求めるとの決議も上がっています。このことは毎回の審議会でも述べてきましたが、長期計画に位置づけることが欠かせないと思います。

それと、災害対策ですが、地震や風水害等、災害が起きる前に事前に被害を防ぐ対策を強化することを基本とし、予防対策をしっかり位置づけていただきたいと思います。既存の旧耐震のマンションやオフィスビルへの防災対策は、戸建て住宅と異なる課題もありますので、施策例では別に追加していただきたいと思います。

環境ですけれども、廃プラスチックの発生を抑制するため、事業主への発生抑制を位置づける必要があると思います。

最後に、市街地整備ですが、施策例に区営住宅ですけれども、管理だけではなく増設をし続けてほしいと思います。また、これ以上の再開発による超高層のマンションやオフィ

スビル建設はやめていただきたい。大崎や五反田、目黒、今、武蔵小山も進んでいますが、大井町もはじめ、さらに大井町線の戸越公園駅前まで超高層の再開発に巨額な税金が進められておりますが、従来の魅力ある町並みを壊し、新たな高層化は近隣への風害も生んでおります。そして、人口集中による鉄道の混雑化、災害時のリスクもさまざま問題が起きます。取り組みの方向性としては、高層化に歯止めをかけ、品川の住宅、にぎわう商店街を活かした低層のまちづくりを進めていただきたいと思います。

■委員

「安全」のところで、命を守るというキーワードを入れていただきたいと思います。当然、安全とか災害対策で十分その中に入っているのはわかるのですが、改めて命を守るという視点を入れていただければと思います。

それと、区民約 40 万人の人口、昼間人口 55 万人を超えておりますので、その区民の命を守る、区外の方も命を守るという視点を入れていただきたいと思います。以上です。

■委員

全体的な話になってしまいますが、この「安全」から入ろうかなと思っておりますが、先ほどの「人」からでもいいのですが、長期基本計画のまとめ方をもう一度、検討いただきたいなど。先ほどからもいろいろ個々の部分について、意見はすごくあると思います。

それから、個々の部分と、市街地整備でも例えば一つ地域特性を活かした魅力ある町をつくるとか、一つ飛び出したものがあって、その後に施策例がある。区がやっている・やってくるものが施策例なのだろうと思うのです。先ほど来、いろいろこういうことを入れてくださいと意見が出されていますが、区が多分これを積極的にやってくるのだと思うのです。ただ長期基本計画なので、多分 10 年間のスパンでこれを議論するのであれば、これを一步でも二歩でも前へ進めるかという話でここに上げてくると、より前へ進めるのは赤で書くとか、これは一步前に進めるとしっかり示すとか、そういう施策例を入れていく。

例えば、「人」の部分でも先ほどあったけれども、地域包括ケアといえればそれで終わってしまうような気がするのです。これも健康な方も、健康な高齢者もいれば、必ず健康づくりを前へ出すのは当たり前で、行政側は皆さんそのような取り組みをやっているわけですね。それを一步 10 年間の中で前へ出していくという項目を選んでみたほうが、我々の中に入ってくるのではないかとすごく思うのです。

例えば私なんかは、学校教育における部活動とかは、10 年前を 1 とすると、今 0.55 ぐらいしかやっていないところが気になっているわけです。働き方改革もあるけれども、こんなに部活動が減ってきていて、私は青少年健全育成にやはり部活動というのは必要な気がしていて、部活動を必ず強化してくれとか入れてほしいと思います。学校教育の中で一生懸命部活動をやっても、実際減っているとかがあるのであれば、やっているけれども、これは赤で示してさらに強くやるとか、何かそういうものを示したほうが良いように思うの

です。10年間の計画なので、あまりここでこういう整理をしていると机上の話だけになってしまっていて、実施計画はどうするのという話になってしまう。そういう部分も長期基本計画にするなら、ぱっと入りやすいものにしてほしいと私は思っています。

■委員

今、この資料を事前に見させていただいたときに、環境が「安全」に入っています。交通安全、生活安全、災害対策、市街地整備も「安全」の中にあってと考えるのはいたのですが、環境は地球規模で何かを考えてということであれば、この「安全」というのはいいのかもしれないのだけれども、区民の皆様にも身近な形で環境に取り組んでいただくと考えたときには、私自身は、「地域」の中に入ってもよいと思います。例えば「地域」の中に水とみどりですとか、都市景観とかが入っていますが、より区民の方々に環境というのを意識してもらうには、この「地域」に入れたほうがよいと思ったのですがというところで提案させていただきます。逆に言うと、何で「安全」に入ってしまったかというところが気になります。

■委員

言葉尻をとるようでとてもお心苦しいのですが、生涯学習・スポーツの施策例の三つ目に、施設の効果的な利用と促進、とありますが、これは効果的な利用をして、今の施設を回していくのかと感じてしまいました。今スポーツクラブを立ち上げるのに対して、区民の皆様は、施設が足りないのにどうしてスポーツクラブをつくるんだと、今、私たちがやっているだけでも手がいっぱいなのに、ほかの方が来られては困るというお話をいろいろなクラブをつくる時に聞かされます。

そしてまた、次の健康のところでも、健康意識向上の支援ということもありますが、品川区の住民の数にしては、体育館、スポーツ施設が少ない状況です。それらがなければスポーツはできないというわけではないと思うのですが、そのような機会をつくるためには、私たちはそういう箱物もあったり、そういう施設をつくっていただければいけないのかと。これは、利用して効果的に回せということだけでは、問題が解決しないと思いましたので、ぜひその辺、施設を何とかできるように計画的に、オリンピックが終わった後でもしていただきたいと思いました。

■委員長

ありがとうございました。もう既に「安全」のところではなくて、先ほどから「地域」、「人」、「安全」という全体を通じてのご意見をいただいております。これは全体を通じて、また改めて皆さんのほうから体系についてのご意見を伺いたいと思います。先ほどの項目、分野でも結構ですので、全体を通じてご意見があればよろしくお願いします。

■委員

「人」の子育て・青少年というところで、これは多世代の交流ということが必要になるのではないかと思います。多世代の交流から生まれる品川独自の仕組みづくりがあったらいいのではないかと思います。シニアの活動なども含めての共助という表現においても、いろいろな世代の視点を入れながら、子育てとか若い子たちの育ちを行っていくような品川独自の仕組みづくりを何かできたら入れられないかという意見でございます。

■委員

全体を通じてということですので、戻りまして表のところで発言させていただきます。現在、品川区は人口が40万人になろうかというところで、ファミリー世代の大きなマンションが建つ中で、ファミリー世代の人口、子どもたちの人口も増えている現状があるかと思えます。学校教育の中で、今計画的に品川区は学校改築を進めていただいておりますが、子どもの人口が増えている中で自分の住んだエリア、また移動する学校に子どもたちが入れるのかどうかや、また兄弟そろって入れるのかどうかというような就学動向も今後の中にぜひしっかり位置づけてご検討いただければと思います。この中にも含まれていることと思えますけれども、あえてお願いさせていただきました。

■委員

今お話ししているのは、計画の核の部分になるかと思うのですけれども、総論部分の枠組みについては、前回議論されたということでしょうか。

■事務局

総論といいますか、もう一つ上のところの三つ分野を決めていくというところ、大きな意味での品川区がどういった形で計画を進めていくのかという三つの分野といったところをお決めいただくということは、前回の第3回の中で議論していただいたところでございます。

■委員

その中で、横串的な理念とか原則みたいなものを述べていくということで、それが全ての分野に関係していくということ、そういう枠組みになるということによろしいのでしょうか。

■事務局

横串の話ですとか、あるいはSDGsの整理といったところは、本文の中では当然出てくるところではございますけれども、そういったところの整理は後ほどまた本文のご審査をいただいた後になりますので、横串をどう整理していくのか、あるいはSDGsをどう表現して

いくのか、表現・文章については後ほど整理をしていくことになります。

■委員

施策の1番の「地域」の水とみどりなのですけれども、施策例で水辺空間の整備と多面的利用の促進とありますが、すごく抽象的な文言がこの答申にも出るのかどうか。例えば水辺空間の整備と多面的利用というと、水上スポーツ、カヌー、SUP、ヨットなどのスポーツの基地をつくるか、具体例を示したほうがいいのではないかと。今、品川はそういう施設は全然ありませんし、そういう需要も相当聞いております。そういう具体例を入れたほうがいいのではないかという意見でございます。

■委員

都市交通のところに利便性の高いバス網の形成促進とあります。その場合の東急などの大きいバスではなくて、小さいマイクロバスなども検討していただけますか。品川区はどちらかと言うと、道路が狭いのです。こっちの道路がないので、なかなか戸越とか大崎とかからここへ来るまでに、はっきり言いますと電車に乗るとすごく遠回りです。真ん中に交通網が何もありません。我々は戸越からですと、駅まで行くのと、ここまで歩いてくるのと大して変わらない。そういう場合には、ある程度小さいコミュニティバスでもつくってもらったほうがいいのではないかということです。だんだん年をとりますと、歩くのがきつくなってきます。前の計画期間10年間のときにも出ているかもしれないので、それが進んでいるのか、進んでいないのかも確認いただきたいと思います。

■委員長

多分、今回ほんの少ししかない施策例に入れてきた以上は、事務局もやりたいと考えているのだろうと受けとめられます。こういうふうに表示してあるので、多分、この後の分野別のところでまた出てくるのではないかと思います。

ほかになければ、そろそろまとめたいと思うのですけれどもよろしいですか。

私も一つ意見を言いたいことがあるのですが、計画をつくる場合に演繹法で行くか、帰納法で行くか、つまり全体の総論から入っていくか、個別分野から入っていくかというのは、どちらがやりやすいかという問題があると思います。また、今後10年間の課題をどう考えるかという議論が一方であるかと思っています。

今日ご意見にもありましたが、既存の施策を中心として施策例があつて、それをこの体系で議論するという進めてよろしいかという意見があつたと思います。そういった意味では、総論の横串のいろいろな課題をどうするかという問題があるという前提なので、けれども、政策の柱は、それぞれの決まった三つの政策分野の中で、政策の柱としては大体こういった体系で議論を進めるのはよろしいと受けとめていいかと思っています。

ただ、あくまでも留保条件つきであつて、それからもう一つは、冒頭から出ているよう

に、表現についてこのように漢字だけで表すのではなく、多分、どういう方向でこういったことをやりたいというのが表題になっていくというのも、施策分野別の議論で出てくることと思います。

そういった意味で、例えば横串の問題でいうと、今後 10 年間でいうと、今までの 10 年間で障害者の定義というのは、一つの例を挙げると大きく変わってきました。昔は障害者というと身体障害者だったのですけれども、その後いろいろな福祉関係の法律が変わり、知的障害者も精神障害者も発達障害者も障害者の定義に含めると、この 10 年間で変わりました。そうすると、私は東京都の人事委員会の委員長をやっているのですけれども、東京都の職員の採用試験ですと、障害者の枠の中で精神障害者も知的障害者も発達障害者も含まれるという形で、採用試験で対応している。このうち知的障害者が何人入りました、精神障害者が何人入りましたという発表の仕方はしていないのですけれども、試験のやり方とか枠としては、そういった形で含めるということに完全に変わりました。初めから要綱には、含めるということで書いてございます。国家公務員はもちろん同様でございます。

これは例えばということですが、そのように世の中がどんどん変わってきていて、今日議論の中でパラリンピックの話が出ましたけれども、パラリンピックも、今は各競技種目の中で知的障害者の種目をつくろうという努力をいろいろしている。身体障害者だけではないという努力をしてきているというのがあります。

もともとオリンピックの最初的时候には、今日女性活躍の話が出ましたけれども、今でも日本の中学校の教科書にオリンピック憲章が出ていますけれども、オリンピック憲章は差別の解消と世界平和が二つの柱になっていて、まさに日本の教科書に載っているのが誠にいい教科書の中身になっていると思うのです。ただ、クーベルタン男爵自体は、オリンピックに何で女性が出るのだと言ったことが有名な話ですが、クーベルタン男爵のときのオリンピックには、女性は参加させないことになっていたのが、これまた有名な話です。

そういった意味では、世の中がどんどん変わってきているのを言葉で何と言うかというところ、2000 年ごろに社会学の論文のヒット件数で最もヒットされたキーワードは、ソーシャルインクルージョンだったわけですが、それが今ではビジネスの世界の中で、ダイバーシティアンドインクルージョンという形で、多様性のある人で企業を構成したほうが商品やサービスがとてよくなるという積極的な意味で使われるようになってきている。これも社会の変化だと思います。

そういった意味では、先ほど多様性というのをもっと前という意見が出ましたけれども、もしかすると表現としては全体として、施策の一つに多様性の尊重があるのではなく、品川が目指す社会の中に多様性を尊重する社会という概念があるのかもしれないです。私はここであまり意見を強調したくないのですが、でもその種の社会的な変化を計画の中でどう表現していくのか。今後 10 年間、さらに社会は変わるのでというのが、今日皆さんから出た意見の中で一つの共通要素としてあると、そういうまとめ方をさせていただきたいと思えます。

いずれにしろ、注文はたくさんあったと思います。そういった中で前回、「地域」、「人」、「安全」という計画の三つの分野をお決めいただいたのですが、今日はまだ表現をどうするかとか、この政策の柱のそれぞれの表現、言葉の問題だけではなくて、もしかしたら入れ替えなどがあるかもしれません。という留保条件つきで今日の会議としては、1ページ目に示されている分野と各分野の中での政策の柱ということで、今後3回はそれぞれの分野について、この柱を前提として議論を進めていくということをお願いできればと思います。

ただ、議論の結果では変わるかもしれないという留保条件つきなのですが、そのように進めていくということで、大体の合意、あるいは共通認識ができたと受けとめてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。では、そのようにまとめさせていただきたいと思います。

4. その他

*事務局より資料3について説明

5. 閉会

以上